

# 新・生物多様性国家戦略の実施状況の点検結果 【外務省】



1

## 生物多様性の国際的ルール作りに貢献

### 具体的内容

生物多様性条約第6回締約国会議に貢献

外来種に関する指針原則及び遺伝資源へのアクセスに関するガイドラインの採択に貢献

カルタヘナ議定書の締結に努力

第156回通常国会において承認、本年11月末までには締結し、2004年2月の締約国会議に締約国として参加することを目指す

ロッテルダム条約の締結に努力

第156回通常国会において承認、早期締結を目指す

ストックホルム条約の効果的実施に貢献

2002年8月に条約を締結、本年7月に第7回政府間交渉委員会へ出席

ワシントン条約第12回締約国会議に貢献

野生動植物の保護とともに科学的根拠に基づき「持続可能な利用」を図っていくことが重要である旨一貫して主張

ラムサール条約第8回締約国会議に貢献

藤前干潟(名古屋市)と宮島沼(北海道美唄市)が条約湿地として登録され、我が国の条約登録湿地は13箇所、84,089ヘクタールとなった

アジア森林パートナーシップ

ヨハネスブルグ・サミットにおいて、インドネシア等と協力してアジアの持続可能な森林経営の促進を目的に発足、2002年11月に第1回会合を日本で、2003年7月に第2回会合をインドネシアで開催

日インドネシア違法伐採対策協力共同発表及び行動計画

日・インドネシア間の違法伐採対策促進のために2003年6月に署名

# 新・生物多様性国家戦略の実施状況の点検結果 【外務省】



2

世界レベルの生物多様性保全に貢献

具体的実施内容

政府開発援助の効果的活用

2002年8月、包括的な中・長期環境協力計画である「持続可能な開発のための環境保全イニシアティブ(EcoISD)」を発表

環境意識向上に向けた支援

インドネシアにおいて技術協力プロジェクト、メキシコにおいて環境教育等に関する支援事業を実施

戦略的な研究の促進と技術・ノウハウ等の移転

インドネシア、マレーシア、ブラジルにおいて実施

民間団体などの活動の支援

NGO事業補助金実績は10事業(約3,400万円)、日本NGO支援無償資金協力実績は4事業(約1,450万円)

援助実施に際しての生物多様性への配慮

国際協力銀行(JBIC)が新環境ガイドライン(環境社会配慮確認のための国際協力銀行ガイドライン)を策定、JICAも新たな環境社会配慮ガイドラインを策定中

自然環境の保全

マレーシアにおいて地域住民の環境意識啓発を支援する住民参加型のワークショップ、環境教育用の資料を作成

サンゴ礁の保護

フィリピンにおいて持続可能型環境保全事業を実施、パラオにおいて、国際サンゴ礁センターを設立し、同センターの機能強化のための事業を実施

熱帯生物資源の保護及び利用

タイ、インドネシア、マレーシアにおいて研究協力事業を実施

林業分野における国際協力

ベトナム、インドネシア、セネガル、ミャンマー、中国、インド、ブラジル、オマーンにおいて植林を実施

漁業分野における国際協力

マレーシアにおいて技術協力プロジェクトを実施